令和４年度第１回「千葉市農政推進協議会」議事録

１　日　　時　　令和４年７月２７日（水）
　　午後２時００分から午後３時３０分

２　場　　所　　千葉中央コミュニティセンター８階　千鳥・海鴎

３　出 席 者

委　員：１０名

清宮惠理子会長　　加藤康幸副会長
橋本泉委員　　竹下洋一委員
大塚不二男委員　　斎藤昌雄委員
石出博子委員　　大塚秀行委員
川村浩一委員　　実川文子委員

事務局：１３名

農政部長（表谷）　農政課長（渡部）
農業生産振興課長（森田）　農地活用推進課長（中田）
農業経営支援課課長補佐（大谷）
農地活用推進課農地保全班主査（原田）
農地保全班（尾關）
農地活用推進課農地活用班主査（中村）
農地活用班（小林）　農政課課長補佐（柴田）
企画班主査（佐藤）　企画班（山内）　企画班（石川）

４　議　　題

（１）会長及び副会長の選任について
（２）議事録署名人の選任について
（３）千葉市農林業成長アクションプラン進行管理（令和３年度）について
（４）次期農業基本計画について
（５）その他報告事項について
　・農政センターリニューアルプランについて
　・肥料価格高騰対策について
（６）農業経営改善計画について
（７）農用地区域の変更について

５　議事概要

（１）　清宮惠理子委員が会長に、加藤康幸委員が副会長に選任された。
（２）　槁本泉委員と大塚秀行委員が議事録署名人に選任された。
（３）　事務局より千葉市農林業成長アクションプラン進行管理（令和３年度）について説明し、了承を得た。
（４）　事務局から次期農業基本計画について説明し、了承を得た。
（５）　事務局からその他報告事項（農政センターリニューアルプラン・肥料価格高騰対策）について報告し、了承を得た。
（６）　事務局より農業経営改善計画について説明し、了承を得た。
（７）　事務局より農用地区域の変更について説明し、了承を得た。

６　会議経過

会議は、農政課課長補佐の司会進行により行われ、開会に先立って、委員１０名の出席を得ているため、千葉市農政推進協議会設置条例第５条第２項の規定に基づき、会議が成立している旨が告げられた。

続いて、議題１から５については、個人情報等が含まれていないため、会議は公開、議事録は公表され、議題６、議題７については、個人情報が含まれているため会議は非公開、議事録は非公表とする旨が告げられ、その後農政部長が挨拶を行った。

議題１　会長及び副会長の選任について

会長選任については、実川文子委員より清宮惠理子委員を会長にと推薦があり、全会一致で清宮惠理子委員が会長に選任され、挨拶を行った後、条例第４条第３項に基づき清宮会長が議長となった。副会長の選任については、竹下洋一委員より加藤康幸委員を副会長にと推薦があり、全会一致で加藤委員が副会長に選任された。その後、会長・副会長が挨拶を行った。

議題２　議事録署名人の選任について

会長より議事録署名人について槁本泉委員と大塚秀行委員の２名が指名された。

議題３　千葉市農林業成長アクションプラン進行管理(令和３年度)について

事務局(農政課　渡部課長)が、千葉市農林業成長アクションプラン進行管理(令和３年度)について状況を報告した。

続いて、清宮会長が議事に諮り、反対意見なく了承された。

議題４　次期農業基本計画について

事務局(農政課　渡部課長)が、次期農業基本計画について状況を報告した。

続いて、以下の質疑応答があった。

【実川委員】

農業経営の持続性を確保していくためには、収益を上げなければならないと思っています。農業従事者の減少、近年増加している地球温暖化による異常気象、新型コロナウイルス拡大による物流コストの上昇、そしてウクライナの戦争による生産資材価格の高騰など極めて厳しい状況にさらされていると思います。計画の策定にあたっては、地に足のついた計画となるよう現場の農業従事者の意見や状況をよく踏まえながら取り組んで頂ければと思っています。

基本目標達成のためには、政策の方向性や施策は農林業成長アクションプランの考え方をベースに検討されているということですが、ただ踏襲するのではなく千葉市の今後 10 年先を見据えて何を重視するのかどこに軸を置いて進めるのかという観点で農業者の方の意見を聞きながら進めて頂ければと思います。

【渡部課長】

ご意見頂き有難うございます。まず、昨今の農業現場を取り巻く状況につきましては厳しいものであると認識しております。ウクライナの情勢による原油、生産資材、物価価格の高騰など、農業現場の厳しい状況については認識しているところでございます。現場のニーズを踏まえた支援を検討・実施すると共に、国・県の支援を含めた今後の動向について注視して参ります。また現場農業者の意見を踏まえた、より実態に即した計画となるように、現在市内農業者等を中心に新型コロナウイルスの影響や原油、資材価格、物価の高騰の影響、農業施策への意見等のヒアリングを行っているところでございます。さらにご指摘頂きました政策の方向性や施策を検討するにあたっては、次の２点が重要であると考えております。まず

１点目は、農業経営者の減少と高齢化が進展していることから法人誘致や青年農業者の育成、後継者対策等を重視し、多様な担い手を確保すること。２点目は、販売額が少ない経営体ほど多く減少していることから農政センターリニューアルによる機能強化やスマート農業技術等の普及、また食のブランド「千」の展開を通じて、生産性や販売力が向上し、より多くの収益を得ることができるようにすること。以上の２点です。実際には、今後も現場農業者の意見や関係機関など本市農業に携わる様々な方の意見をいただきながら、検討を進めてまいります。

【斎藤委員】

農業について大変厳しい状況であるというお話がありましたが、畜産の状況についてはここにきて色々な原因がありましたけれども急激な円安によって飼料が高騰してなかなか経営が成り立たないような状況が続いています。特に酪農については中央酪農会議の調査によると全国の酪農家の９割が赤字経営でその内の６割がこのままいくと廃業せざるを得ない、大変危機的な状況にあります。国も県も金銭的な支援については考えているでしょうけど、従来と違い、国は国、県は県と別々に支援をするのではなく、それぞれが併せた金銭的な支援をしないとこれまでより更に廃業に追い込まれるような大変厳しい状況であると思います。長期の計画と共に、緊急の早期の対策をお願いしたいと思います。特に酪農・畜産の場合には施設費とか投資が高額になっていますので、長期で借り入れをおこしている生産者もかなりたくさんいます。今の状況であると長期の返済計画、これについても見直してもらわないととても返済できるような状況ではない。そういった現場の厳しい状況を理解して頂いて、早急に対策をお願いしたいと思います。

【森田課長】

貴重な意見を頂き有難うございます。畜産に関しては、配合肥料については国の方の支援があります。粗飼料、草の部分についてすごく困っているという意見を斎藤委員から頂きまして、千葉県の方が緊急対策として粗飼料の支援対策ということで組み立てているようです。県の方から各酪農家さんの方へ、周知があるようなのでもう少しお待ちください。またこの対策に不足する部分がありましたら、市の方でも検討が必要なのかなと考えております。

【斎藤委員】

配合飼料については国がということがありますけれども、これまで経験したことがないくらいに飼料が高騰しておりますので、国の

支援だけではとても間に合うような状況ではない。今までの状況とはまるで違うということを認識して頂きたい。一刻も早く緊急的に対策して頂かないと、９割が赤字経営に陥っているということですから、これが先伸ばしになってしまうとその間に廃業せざるを得ないという方々が続々と出てきてしまいますので、現場の実際の状況等を確認して頂いて支援策を考えて頂きたいと思います。

【森田課長】

引き続き現場の方を回りつつ、現場の意見を取り入れて何かあれば緊急対策を考えていければと思います。

【表谷部長】

貴重なご意見有難うございます。国・県の対応というところもありますが、現在現場を回らせて頂いているという状況もありますので、もう少し詳細を検討させて頂いて市での対応を検討していきたいと思います。

【斎藤委員】

よろしくお願いします。

【石出委員】

千葉市農業の持続性を確保していくために、若い担い手を確保し、そして収益を上げることができるように支援することは必要だと思います。基本目標の設定にあたっては、これまで、「農業基本計画」や「農林業成長アクションプラン」に基づく各種施策を実施してきたものの、根本的な解決には至らなかったという結果は受け入れながら、縮こまらずに大きな目標を掲げていただくことを期待しております。また、若い農業者が減少している中で、若者が夢を持てるような、千葉市で農業をやりたい、と思えるような目標にしていただくことで、青年農業者の確保にも繋がるのではないかと考えます。よろしくお願い致します。

【渡部課長】

御意見いただき、ありがとうございます。これまで講じてきた様々な施策が結果として問題解決には繋がらなかったという事実は、農政部として重く受け止めております。千葉市農業が衰退するか、それとも持ち直すかという、まさに分岐点に立っているという危機感を持って、新たな農業基本計画を策定していきたいと考えております。目標設定にあたっては、ご指摘いただきましたように、若い農業者が千葉市で農業を始めたいと夢を思っていただけるような、具体的かつ大きな目標を掲げたいと考えております。

続いて、清宮会長が議事に諮り、反対意見なく了承された。

議題５　その他報告事項(農政センターリニューアルプランについて・肥料価格高騰対策について)

事務局（農業生産振興課　森田課長）が農政センターリニューアルプラン及び肥料価格高騰対策について説明を行った。

続いて、以下の質疑応答があった。

【槁本委員】

農政センターをリニューアルすることについては非常に良いことではないかと思います。実は土地改良協会千葉支部の中には 30 近くの団体があるが、田んぼの植え付けの中で様々な害虫がいたりジャンボタニシが出たりといった問題を抱えており、そういった相談はほとんど千葉農業事務所の方で主体的に行っております。農業技師の確保ということで話がありましたが、そういう相談・指導のできる人材を育てることをリニューアルと一緒に行って欲しいという要望であります。よろしくお願いします。

【森田課長】

ご意見有難うございます。今後、千葉県・ＪＡさんと連携を持ちながら農業技師の育成に努めて参りたいと思います。

続いて、清宮会長が議事に諮り、反対意見なく了承された。

議題６、７に係る会議経過については、千葉市情報公開条例第７条第２号に規定する情報（個人情報）が含まれているため、公表しておりません。

問い合わせ先
千葉市経済農政局農政部農政課
電話０４３－２４５－５７５７